

② 人間ドック病院別実施数（日帰りドック）

委託病院	当初予定 人	実施人数	共済支出額 円
県保健衛生協会	199	196	5,016,000
熱海総合病院	157	217	5,750,500
会津総合病院	104	100	2,791,500
松村健診センター	144	127	3,619,500
計	604	640	17,177,500

③ 実施結果

項目	検診項目別指導基準				受診者 (e)	指導基準別比率			
	A (a)	B (b)	C (c)	D (d)		a/e	b/e	c/e	d/e
一般理学	1,837	430	445	46	2,758	66.6%	15.6%	16.1%	1.7%
呼吸器	2,201	424	105	28	2,758	79.8%	15.4%	3.8%	1.0%
循環器	1,315	600	588	255	2,758	47.7%	21.8%	21.3%	9.2%
消化器系	1,270	602	764	113	2,749	46.2%	21.9%	27.8%	4.1%
腎機能	2,232	370	110	46	2,758	80.9%	13.4%	4.0%	1.7%
胆のう	1,984	145	73	31	2,233	88.8%	6.5%	3.3%	1.4%
肝機能	2,136	335	209	78	2,758	77.4%	12.2%	7.6%	2.8%
糖尿病	1,764	506	370	118	2,758	64.0%	18.3%	13.4%	4.3%
血液系	2,225	383	99	51	2,758	80.7%	13.9%	3.6%	1.8%
血清	2,690	62	4	2	2,758	97.6%	2.2%	0.1%	0.1%
眼科	2,112	498	117	31	2,758	76.6%	18.1%	4.2%	1.1%
婦人科	570	119	37	22	748	76.2%	15.9%	5.0%	2.9%
計	22,336	4,474	2,921	821	30,552	73.1%	14.6%	9.6%	2.7%

(注) 指導基準の区分

- A……異常なし。
- B……わずかに異常を認めるが、日常生活支障なし。
- C……日常生活上注意を要する。改めて精密検査を要する。
- D……治療を要する。

3 共済組合単独事業

(1) 女子組員保育補助（20年目）

昭和60年度内に出産又は出産が予定される女子組員に対し、母体保護及び保育に要する経費負担の軽減を図るため、保育用品を交付した。

区分	内容	交付数
Aセット	パジャマ、肌着上下、エプロン、ストレッチカバーオール	159
Bセット	マザーズバック、オムツカバー（2枚）	133
Cセット	ベビー毛布（カバー付）、ベビーバスタオル	144
Dセット	国民医学大事典、赤ちゃん百科	104
	計	540

(2) 銀婚祝賀（23年目）

昭和60年度内に銀婚を迎えた組員に記念品を贈呈して祝福した。贈呈品は「有田焼桜花紋睦夫婦茶碗」（配偶者も組員の場合は、妻である組員には、「会津木製漆器宝宝箱」）である。 583人

(3) 親子招待（18年目）

母子家庭及び父子家庭の生活の主体者である組員の日ごろの労をねぎらうため、親子ともども指定する旅館に招待し、宿泊費の助成を行った。

親子招待数 45組
助成額 組員及び中学生以上の被扶養者 12,000円
小学生以下の被扶養者 8,000円

(4) 保養所等利用助成（20年目）

組員が旅行のため当支部指定の共済組合宿泊施設を利用した場合、利用者の福祉増進を図るため利用券を発行して助成した。

なお、「あづま荘」「郡山会館」については、組員の外、組員の被扶養者及び被扶養者でない配偶者、子供、父母も助成の対象とした。

また「あづま荘」「郡山会館」については、県教育委員会主催等の会議室利用助成と結婚式を行う組員及びその子に対し結婚式利用助成を行った。

助成額 宿泊利用 1泊につき1,300円
会議室 5割
結婚式 1組につき30,000円
助成件数 宿泊利用助成 17,983件
内訳 県内利用助成 15,038件
県外利用助成 2,945件

(5) 生活設計講座（2年目）

高齢化社会の時代背景を踏まえて組員の退職後の生活設計に資するため下記のとおり講座を実施した。

講演内容及び講師

- ① 「文学・美術・人生」 原田 実（県立美術館長）
- ② 「健康と生活」 長浦小一郎（県福島保健所長）
- ③ 「年金と生活」 柚原 達男（日本退職公務員連盟理事）

(6) 弔慰供花（13年目）

現職中に死亡した組員の霊前に花輪を供えて、追悼の意を表した。

供花件数 38件

4 共済組合及び互助会の共催事業

(1) 配偶者の人間ドック（1年目）

組員の被扶養者である配偶者で、昭和60年4月1日現在40歳以上の者について短期人間ドック又は日帰りドックを実施した。

① 短期人間ドック病院別実施数

委託病院	実施人数	共済支出額 円	互助会支出額 円
県保健衛生協会	32	320,000	320,000
東北中央病院	7	70,000	70,000